8月　中旬

令和7年度年東京都中央卸売市場青果物販売概況

令和7年8月22日(金)作成
JA全農さいたま園芸販売課　大田市場駐在
TEL03-5755-9980

1. 全体の販売概況

開市日　5日（前年比±0日）

入荷量 ：36，708トン（前年：38，216トン　前年比96%）　　kg単価 ：388円（前年：386円　前年比101%）　※入荷量・kg単価は野菜、果実の合計

主要野菜は、なすが前年比入荷減単価安、キャベツ・たまねぎ・おおば・ブロッコリー・ほうれん草・とうもろこしが入荷前年並み単価安、だいこん・こねぎ・ばれいしょが入荷増単価安となった。
一方で、にんじん・ねぎ・はくさい・トマト・レタスが入荷減単価高、ピーマン・アスパラガスが入荷前年並み単価高、さといもが入荷増単価高となった。

2. 埼玉県主要品目の販売概況（東京都中央卸売市場）

品目	項目	8月中旬 東京都中央卸売市場販売実績 本年	前年	前年比	今後の見通し（8月下旬～9月上旬）		8月中旬 出回り主力産地			摘要	
小松菜	入荷量（t）	335	326	103%	入荷量	→	茨城	群馬	埼玉	8月中旬結果	茨城産主力に群馬・埼玉産の加わる出回りとなった。茨城産は、出荷の谷となり前旬に比べ入荷量は減少した。入荷量は減少したが量販店の荷動きは鈍く、価格は埼玉産AM袋で45-35円の保合で推移した。
	価格（円/kg）	240	342	70%	価格	→	74%	12%	5%	8月下旬～9月上旬見通し	引き続き、茨城産主力に群馬・埼玉産の加わる出回りとなろう。安定した天候が続く予報から、出荷量は横這いを見込む。ただし高温による品質低下・黄変・傷みの発生により入荷が減少する懸念もある。8月下旬の価格は、埼玉産AM袋で45-35円の保合推移を見込む。
なす	入荷量（t）	1,036	1,099	94%	入荷量	↘	群馬	栃木	茨城	8月中旬結果	群馬産主力に栃木・茨城産の加わる出回りとなった。群馬・栃木産は、生育順調で肥大進み入荷量は前旬に比べ大幅な増量となった。量販店では特売が多く組まれたが荷動き鈍く販売は軟調となった。価格は、栃木産AMバラで前半1,500円、後半1,400-1,300円の弱含みで推移した。
	価格（円/kg）	337	425	79%	価格	↗	53%	24%	11%	8月下旬～9月上旬見通し	引き続き、群馬・栃木産中心に茨城産の加わる出回りとなろう。関東各産地ともに成り疲れと切り戻しにより入荷量は減少の見込み。加えて、月末に向けて量販店の特売が多く組まれ引き合い強い予想から販売は堅調な見込み。8月下旬の価格は、栃木産AMバラで1,600-1,400円の強含みを見込む。
なし	入荷量（t）	1,921	2,139	90%	入荷量	↗	千葉	茨城	栃木	8月中旬結果	盆休前は千葉・茨城産中心、盆休明けは千葉・栃木産中心の出回りとなった。栃木・福島産は、生育が遅れており入荷量は前年を大きく下回った。盆休に向けて販売は堅調で推移したが、盆明け以降は各産地出荷が集中し販売は軟調となり、価格は幸水28玉（10kg）で前半は茨城産主力で8,000-7,500円、後半は千葉産主力で6,500-6,000円と弱含みで推移した。
	価格（円/kg）	613	542	113%	価格	↘	33%	28%	28%	8月下旬～9月上旬見通し	栃木・福島産幸水中心の出回りとなろう。栃木・福島産幸水は、増量ペースは当初の予想より2，3日遅れているが各産地出揃い出荷ピークとなる見込み。茨城産豊水は9月上旬から増量となる見込み。総体量は増加する見通しから、8月下旬の価格は栃木産幸水10kg28玉で6,000-5,500円の弱含みを見込む。

3. 今後の見通し

北海道道東・北東北地方、九州地方は、前線の通過や台風停滞による線状降水帯の発生等で一部地域では記録的な豪雨に見舞われており、出荷中の夏ねぎ・にんじんの収穫作業が滞る事や抑制・秋冬作の播種・定植、生育に大きな影響が生じる懸念がある。